

科目ナンバー： BC3091

授業コード： 2230300900

講義科目名称： 地域・在宅看護論Ⅰ

英文科目名称： Community & Home Health NursingⅠ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員			
◎高林知佳子、野口裕子、関睦美			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期 【授業時間】 15時間 【担当教員】 【氏名】 ◎高林 知佳子 【所属】 新潟県立看護大学 【研究室】 304 【メールアドレス】 takabaya@niigata- cn.ac.jp 野口 裕子 【所属】 新潟県立看護大学 209 cn.ac.jp 関 睦美 【所属】 新潟県立看護大学 301 cn.ac.jp 実務経験のある教員が担当します。 【本学の科目区分】 専門科目 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程 保健師課程 【DP1】 ○ 【DP2】 ◎ 【DP3】 ○ 【DP4】 ○ 【DP5】 ○ 【DP6】 ○ 【DP7】 ○
------	--

到達目標	1. 地域を基盤として行われている看護活動を理解する。 2. 地域で働く看護職の役割・機能、活動の方法を理解する。
授業概要	地域で生活する人々の健康と生活や、地域包括ケアシステムの中で多職種と連携しながら活動する看護師の役割について基本的な考え方を学ぶ。
授業計画	1 授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：人々の暮らしと地域・在宅看護 学修内容：地域・在宅看護論を学ぶ目的、人々の暮らし、地域・在宅看護に求められる役割 事前学修：テキストP1～2、P12～29を熟読し、地域・在宅看護論を学ぶ目的、人々の暮らし、地域・在宅看護に求められる役割について調べる。 事後学修：テキストP1～2、P12～29を読み返すとともに、授業資料に示した「本時の事後学習」の内容について整理する。 備考：高林 2 授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：暮らしの基盤としての地域の理解 学修内容：人々の暮らしと地域の多様性、暮らしと地域を理解するための考え方、地域包括ケアシステム、地域共生社会 事前学修：テキストP32～50を熟読し、地域が持つさまざまな特徴、地域のとらえ方、地域包括ケアシステム、地域共生社会について調べる。 事後学修：テキストP32～50を読み返すとともに、授業資料に示した「本時の事後学習」の内容について整理する。 備考：高林 3 授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：暮らしの基盤としての地域の理解 学修内容：「暮らし」の理解 事前学修：授業内にテキストP26のワークシートを記載する。ふだんの生活を振り返り、記述できるように準備する。 事後学修：授業内に事例を紹介する。どのように事例の暮らしを支えるについてレポートを作成する。 備考：関 4 授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：暮らしの基盤としての地域の理解 学修内容：「地域」の理解

	5 事前学修：地域についてテキストを参考に調べる。 事後学修：上越市に住んで感じたことをワークシートに沿ってまとめ、レポートを作成する。 備考：野口 授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：地域・在宅看護の対象 学修内容：地域・在宅看護の対象者、家族の理解、地域在宅看護の実践 事前学修：テキストP58～101を熟読し、地域・在宅看護の対象者、家族の理解、地域在宅看護の実践について調べる。 事後学修：テキストP58～101を読み返すとともに、授業資料に示した「本時の事後学習」の内容について整理する。 備考：高林 6 授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：暮らしを支える地域・在宅看護 学修内容：地域における家族の看護、暮らしの環境を整える看護、地域・在宅看護の実践の場 事前学修：テキストP104～114、P147～154を熟読し、地域における家族の看護、暮らしの環境を整える看護について調べる。 事後学修：テキストP104～114、P147～154を読み返すとともに、授業資料に示した「本時の事後学習」の内容について整理する。 備考：高林 7 授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：地域・在宅看護活動の実際 学修内容：入退院支援室看護師、訪問看護師、地域包括支援センター保健師における地域・在宅看護活動 事前学修：ゲストスピーカーとして登壇する3職種のうち、いずれか1職種を選び、当該職種の講師に対して「尋ねてみたいこと（質問したい内容）」をまとめる。 事後学修：地域包括ケアシステムにおける多職種連携の視点から、看護師が果たす役割について整理する。 備考：ゲストスピーカー 8 授業内容 授業形態：対面演習、グループワーク 学修課題：これからの地域・在宅看護を考える 学修内容：これからの地域・在宅看護に求められることについてグループ討議・発表 事前学修：なし 事後学修：ゲストスピーカーの講義内容をふまえ、今後の地域・在宅看護に求められる事項についてまとめる。 備考：高林、野口、関
評価方法、評価基準	到達目標1～2に対し、下記の3点にて評価する。 1. 期末試験50% 2. 課題30%：課題の内容は、各講義時に説明する。 3. 課題レポート20%：レポートの詳細は、初回講義時に説明する。
必携図書	地域・在宅看護論1 地域・在宅看護の基盤 第7版 医学書院
参考図書・資料等	地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア 第7版 メディカ出版
受講、課題、資料配布等のルール	試験を受けるには、2/3以上の出席が必要。 20分以上の遅刻は欠席とみなす。資料は授業開始時に配付する。 出席は、振り返りシートを毎回授業の終わりに提出、もしくは、どこカレへの入力を行うことで確認する（未提出もしくは未入力の場合は欠席とする）。 必携図書、配布資料は毎回持参すること。
教員からのメッセージ	地域で暮らす人々は、様々な健康レベルにあります。人々の健康と生活を守り、生活の質を追求する上で、看護職の役割は重要です。地域看護とは何か、共に考え、学びましょう。
オフィスアワー	時間指定なし（事前予約必要）